

## 院長にインタビュー

院長  
いわ き まさ あき  
**岩城 正明** 先生

「患者様から“ありがとう”の言葉を頂いたときには、疲れも吹き飛んでしまう」

埼玉県所沢市にある「いわき歯科医院」では、患者様のお口の健康とハッピー・スマイルを目標に日々の診療に取り組まれています。

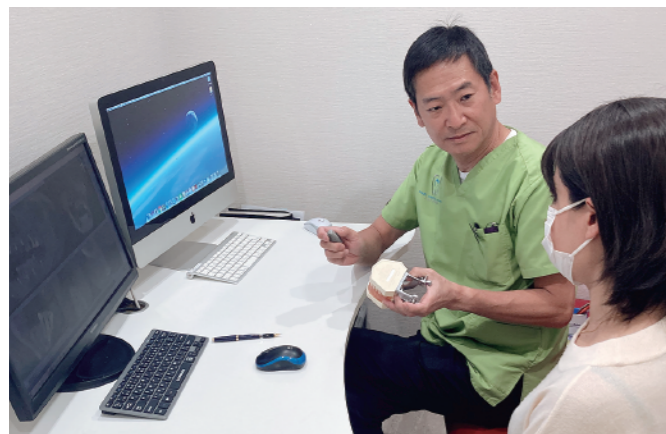
また、院長である岩城正明先生は、日本口腔インプラント学会、国際口腔インプラント学会に所属されており、長年インプラント治療に携わるベテラン歯科医師です。今回はそんな岩城先生に気になるインプラントのこと、クリニックのことなどをお伺いしました。

### 多くの方が5年、10年後も、別の部位でインプラントを選ぶ

—— まずは最初の質問になりますが、岩城先生が考える、インプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

インプラント治療のメリットと言えば、第一に自分の歯と同じような感覚でしっかりと噛むことが可能になることです。例えば、入れ歯の違和感や不快感が無くなり、強く噛んでも骨で支えているため耐えられるという点です。

第二に審美的な材料を使用するので、見た目も美



しく自然であることです。

そして第三に、健康な歯に悪影響を与えないということです。他にも、顎の骨が痩せるのを防いだり、精神面、健康面での向上につながることでですね。

—— では、実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょう？

インプラント治療前は色々迷った患者様も、やってみたら「早くやれば良かった」「色々なものを食べてみたくなった」「コンプレックスが無くなった」などのお声を頂いています。

どの患者様も最初のインプラントはずいぶん悩まれることが多いですが、一度インプラント治療を経験した患者様が5年、10年後に、別の部位で歯を抜く必要に迫られたとき、ためらわずにインプラント治療を選ばれる患者様が大勢いらっしゃいます。

—— それだけ自分の歯に近い噛み心地ということでしょうか。しかし、インプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

最初は、「痛いのでは?」「怖い」と言う患者様も多いですが、実際には痛みに配慮した手術を行うことで「もう終わったの?」「思っていたより断然楽!」という方がほとんどです。

そのうえ、強い恐怖心を持っている方や全身疾患のある患者様には、ウトウトしている間にストレスフリーで手術が終わる静脈鎮静法※をお勧めしていますので、ご安心下さい。

※眠くなりますが、意識はなくなり、自分自身で普段通りに呼吸ができ、呼びかけや刺激に対して反応可能な麻酔です。

### 強みは、ベテラン勢のチーム医療体制

—— 怖いと思って躊躇していた方も、安心して治療を受けることができますね！

ところで、岩城先生は常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

かねてから、海外の学会や大学で学ぶことを継続して行っております。多い年では年に18回ほど、海外での学会や講習会で学んでいます。

加えてインプラント治療を後進の歯科医師に学んで頂く機会を作るため、ハワイ大学や、カリフォルニア大学と連携して歯科医師の研修コースを主催しています。

—— それでは、患者様とコミュニケーションをとる上で心掛けている点はどこでしょうか？

まず、患者様の口腔内写真やレントゲン、CTを見ながらじっくり患者様のご要望をお聴きするところから始めています。

また、過去の治療例を見ていただいたりして、イメージを掴みやすいようにしています。

おうちに帰られてからも参考にさせていただけるように、Youtubeチャンネルも開設し、コミュニケーションに役立てています。

—— それでは岩城先生、ずばり!クリニックの強みはどこでしょうか？

当院の強みは、チーム医療としてインプラント治療に取り組んでいるところです。

院長である私が日本口腔インプラント学会に所属

しているのはもちろんのこと、10年以上勤務している3名の歯科衛生士も全員が日本口腔インプラント学会に所属し、日々研鑽を積んでおります。

また、院内に二名の歯科技工士が常勤しており、仮歯や、不意の修理などにも迅速に対応できる体制を整えています。

—— 日々勉強されているベテランの方々に診てもらえるのなら安心ですね！

まったく話は変わるのですが、ご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

休日は、インプラントや歯科関係のセミナーや講習会に参加することが多いですね。

それ以外の休日は、ほとんどゴルフをしています。同じ歯科医師の妻や娘もゴルフをしますので毎回、負けられない戦いに挑んでいます(笑)。おかげでよく歩くので、健康維持にも役立っています。

—— それでは、最後によろしいですか。岩城先生にとってこの仕事の喜びとは何でしょうか？

やはり、歯が悪い、痛い、見た目が悪い、噛めない、などの症状を訴えて来院される患者様の要望に応えることができたときの満足感は大きいです。

大学卒業間もない頃は「千差万別の患者様の要求すべてに応えられる歯科医師になれるのだろうか?」と思い悩んだこともありましたが、ようやく30年以上を経過してずいぶん近づけたかなと思っています。

患者様から「ありがとう」の言葉を頂いたときには、疲れも吹き飛んでしまいますね。

